

一期一会

令和3年度 岡崎市立恵田小学校

7月号 校長室だより

～当たり前の日々こそ～

4月6日恵田っ子43名でスタートした令和3年度。いよいよ明日は1学期の終業式を迎えます。目の前の恵田っ子達、少し日に焼け、学校生活慣れ一人一人確実に成長した姿に頼もしささえ感じます。

当たり前の日々の中で度々子供たちの強さや頑張りに出逢うことがあります。苦手な教科、初めはよくわからない・・・でも、

決して投げ出さず何度も問題を読み返し答えを導きだそうと机に向かう姿。目指すテスト合格。あと1点に悔し涙を浮かべ仲間に応援されながら挑戦する後ろ姿。あこがれの上級生のように一日も早く乗れるようになりたい一輪車。たった5分でも自分の目標におかって一人運動場で技の練習に挑む、ひたむきな姿。一日一日、一つ一つのかげがえのない経験と時間が恵田っ子を成長させていました。

先日、代表委員6年生2名が校長室に来てくれました。「7月にはいい、残された学校生活を恵田っ子全員で元気に安全に過ごせるように、**コロナウイルス対策プロジェクト略して〈コロフロ〉**」を実行していきたい」との報告でした。代表委員で学校のために話し合いアイデアをだして自分たちの手で行動してくれました。コロナ禍を生きていく子ども達に「自分たちのアイデアと行動で当たり前の日々を守っていく」未来に繋がる力が育まれていることに感動しました。

命についてたくさんのことを学んだ1学期です



ふるさと 恵田に学ぶ - 恵田の恵み 自然の恵み 人の恵み -

昨年度恵田小のブドウ園は度々野生動物の被害に襲われました。荒れ果てたブドウ園の状況に、子供たちは自然との共生の難しさ、作物を育てることの真の苦勞について実体験をもって学ぶ機会となりました。だからこそ、恵田っ子のために宝石のようなブドウを次々届けて下さる地域の方々の温かな支えを実感しました。

令和3年3月、恵田小のブドウ園はたくさんの方達のご協力と支援によりハウスへと着工して頂きました。貴重な資材、暗くなるまでの組み立て、地域の皆様に



ブドウ栽培を指導して下さる 柴田様 高橋様

感謝の思いで一杯でした。今年度ブドウ栽培を担う6年生9名。ハウスを作って頂き「今年こそは!」という思いで一杯です。今年度は「Myブドウ」として9人がそれぞれ自分の枝を決め、そこに名札をかけました。天候や雨の状況を気にかけて日々「Myブドウ」の成長を見守りながら実りの秋を心待ちにしています。